

高等学校 令和4年度（2学年用）教科

家庭 科目 子どもの発達と保育

教科：家庭 科目：子どもの発達と保育

単位数：4 単位

対象学年組：第2学年 1組～2組

使用教科書：（子どもの発達と保育 育つ・育てる・育ち合う（教育図書））

教科 家庭 の目標：生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、

様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、家族・家庭・衣食住、消費や環境などについて生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し実践を評価・改善し考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど生涯を見通して課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】様々な人と協働し、よりよい社会の構築に向けて地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

科目 子どもの発達と保育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
保育の意義や方法、子どもの発達や生活の特徴及び子どもの福祉と文化などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。	子どもを取り巻く課題を発見し、保育を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う	子どもの健やかな発達を目指して自ら学び、保育に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
1 学 期	A 子どもの保育 ・保育の意義、方法、環境 【知識及び技能】 保育の意義、方法、環境及び乳幼児の発達について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術、技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 子どもの発達を支えるうえでの課題を発見し、保育を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 学び得た知識を実践に生かすことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 子どもの健やかな発達を目指して自ら学び、保育に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	・子どもの保育 保育の意義、方法、環境 ・全国高等学校家庭科保育検定の実施（3級）	【知識・技能】 子どもの発達を支えることの意義、環境、方法について理解し、実践として生かすことができる。 【思考・判断・表現】 子どもの発達を支えることの意義、環境、方法について情報を分析し、レポート等にわかりやすくまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 学びを実践に生かし、主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	24
	定期考査			○	○		1
	B 子どもの発達 ・子どもの発達の特性、乳児期の発達、幼児期の発達 【知識及び技能】 保育の意義、方法、環境及び乳幼児の発達について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術、技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 子どもの発達を支えるうえでの課題を発見し、保育を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 学び得た知識を実践に生かすことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 子どもの健やかな発達を目指して自ら学び、保育に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	・子どもの発達 子どもの発達の特性、乳児期の発達、幼児期の発達 ・保育施設等への訪問、事前事後指導、オンライン交流 など	【知識・技能】 子どもの発達を支えることの意義、環境、方法について理解し、実践として生かすことができる。 【思考・判断・表現】 子どもの発達を支えることの意義、環境、方法について情報を分析し、レポート等にわかりやすくまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 学びを実践に生かし、主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	24
定期考査			○	○		1	
2 学 期	C 子どもの生活と擁護 乳幼児期の生活の特徴と擁護 生活習慣の形成 健康管理と事故防止 【知識及び技能】 子どもの健全な発達を支えるための社会の取り組み、地域社会の在り方を知る 【思考力、判断力、表現力等】 子どもを取り巻く環境について課題を発見し、保育を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う 【学びに向かう力、人間性等】 子どもの健やかな発達を目指して自ら学び、保育に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	・子どもの生活と擁護 基本的生活習慣と健康管理	【知識及び技能】 子どもの健全な発達を支えるための社会や環境について および 保育の場としての家庭や幼稚園、保育所などの特徴と役割を理解できているか。 【思考力、判断力、表現力等】 子どもを取り巻く環境について課題を発見し、保育を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力をつけられたか。 【学びに向かう力、人間性等】 子どもの健やかな発達を目指して自ら学び、保育に主体的かつ協働的に取り組む態度が育成できたか。	○	○	○	28
	定期考査			○	○		1

